



手洗い・うがいの徹底や校舎内の消毒も継続しています。

手さげ袋を持って登校してくる子ども達も、帽子・手袋をして風邪防止にも努めているようです。ありがとうございます。

自分の出番

「3学期はボランティアをがんばりましょう」と児童会の金原彪雅さんが話してくれました。雪が積もれば、雪かきをしてくれる子がいます。休み時間に、「雪かきをしてもいいですか」と聞きにくる子もいます。ボランティアが広がればいいと願っています。2月8日の全校朝会でもお話をしました。全校朝会は放送で行いました。

おはようございます。

今日は、校長先生が朝学校に来るときに見かけたことを紹介します。「出番」というお話です。

校長先生は八戸から通っていますが、国道を車で走ってきて、先日、先々週だったでしょうか。雪が積もった日のことです。角浜を通りかかったときのことで。スクールバスのバス停のところ

にどこかの家のおじいさんがおられました。前の日の夜から降った雪をかいておられるのでした。

ご自分のおうちの子がバスを使っているのでしょうか。それとも、ご自分のおうちの子に関係なく「近くに住んでいるから」と進んで雪かきをやっておられるのでしょうか。

思い出すと、そこまで来る途中でも、雪かきをしている方がたくさんいました。家の庭だけでなく、家の前の道路の歩道も。こうして、それぞれの家の前の歩道の雪かきをしてくださるので、それがつながって、歩道の雪はなくなります。小学生や中学生が登校する時間には、雪がなくなって歩きやすくなっているのです。火事の時に消防車が使う消火栓の周りも近くの方がやっています。昔からこうして、近所の人達が、自分の家ばかりではなく、家の近くも、みんなが使うところは雪をかくという習わしがあります。きっと、「自分がやらなければ」とか「ここは自分の仕事」と思って行動をしておられるのだと思います。

人には「その人の“出番”」というものがあります。「今やらなければ」とか、「自分がやらなければ誰がやるのか」というときがあるものです。みなさんには、この「出番」を感じる人になってほしいです。

「小さい子にやらせてはおけない」とか「お年寄りがやっているのに、自分はやらないわけには行かない。」などと自分の出番を感じて行動することができたら、その人は“頼りになる人”になります。

「3学期はボランティアをがんばろう」と話をしました。「やりたい」という気持ちも大事ですが、「これは自分の出番かな」ということを感じる人が増えればボランティアも増えていくことでしょう。

みなさんには、どんな「自分の出番」が見つかるでしょうか。

角浜のおじいさんを見かけて何日か経った日の朝、また雪が積もっていました。そしたら、また、同じおじいさんが、朝雪かきをしておられたのです。きっと、前の日の晩、降っている雪を窓から見ながら、「明日の朝は、出番かな」とお思いになったことでしょう。

子ども達の顔は見えません。でも、しっかりと聞いてくれているようです。「自分の出番」が見つかるといいです。

児童総会

学校というのは、
先生方だけが創るものではなく
みんなで創るもの

学校を創るというのは…

2月3日に児童会のまとめの総会がありました。

執行部、委員会の取り組みについて、各学級から質問や意見が出されました。

4年生

4年生は、みんなの前で発言しました。ドキドキしたと思います。それでも堂々と発言していました。来年は、5年生になって、質問や意見を言う側から言われる側、言われたことを実行する側になります。学級で行っている係活動にも似ていますが、相手は学級ではなく全校になります。仕事も大変になることでしょうが、やりがいもあることでしょう。



5年生

5年生は、6年生を助けて働いてくれました。4月からは自分達を中心になって学校を動かしていくこととなります。この日出された「質問」や「意見」、「来年度に向けてのアイデア」などをもとに、「こんなことをしたら楽しいだろうな。あんなことをしたら、もっとみんなのためになるだろうな。」と想像を膨らませながら春に向かってほしいです。

6年生

子ども達には、「みなさんの力でよりよい種市小学校を創っていきましょう。」とお話してきました。特に6年生は、前の6年生から引き継いで、運動会、学習発表会などの行事、あいさつや廊下歩行など生活面の取り組み、そして委員会活動などを進める中で、文字通り、よりよい種市小学校になってきました。「きっと、ますますよくなるぞ」という気持ちもしてきます。



児童総会の終わりに子ども達に話しました。

学校というのは、先生方だけが創るものではないのです。みんなで創るものなのです。そして、学校を創るというのは、こうやって、自分達で考え、ときには悩み、実行するなかで、生活を直したり、工夫して楽しくしたり、よい行動を増やしたりしていくことなのです。

みなさん、今年度の児童会・委員会の活動、お疲れ様でした。そして、まだ残りも最後までよろしくお願ひします。

4年生、5年生が6年生から学校を引き継ぎます。そして、6年生は、総会は終わりましたが、最後まで、「みんなのためにできることはないか」と下級生を助けてくれることでしょう。

総会の日も節分でした。次の日からは、こよみのうえでは季節が春になるという日でした。1年が経ち春が来ようとしています。

コロナに備える

<何よりも、子どもの活動を行うため>

岩手県独自の緊急事態宣言が出され、学校の活動も制限が入っています。授業参観なども中止とさせていただきます。今の制限は、むしろ「子どもの活動を制限しないための制限」とご理解とご協力をお願いいたします。

<学級閉鎖>

急な閉鎖と下校でしたが、おうちの方のご都合をつけてくださいました。ご協力いただいたことに感謝申し上げます。また、詮索や誹謗・中傷の声も聞こえてきません。そんなおうちの方の姿勢がありがたく、学校と家庭が一緒になって子ども達の成長を進めていけるものと感じています。

迎えに来てくださったおうちの方に、「急な対応をありがとうございます。」とお声がけると、逆に「子どものためですから。学校こそお疲れ様です。」という声をいただきました。ありがたいことです。